

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572608370		
法人名	有限会社 わかば会		
事業所名	グループホームきらら千畑		
所在地	秋田県仙北郡美郷町本堂城回字新谷尻214-7		
自己評価作成日	令和1年年10月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo-service.pref.akita.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 秋田県社会福祉士会		
所在地	秋田市旭北栄町1番5号		
訪問調査日	令和1年10月31日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設がオープンしてから17年目になりますが、今まで何人もの利用者様にお会いできたことで、いろいろな経験をさせていただくことができました。利用者様のご家族の皆様、地域の方々からのご指導、ご鞭撻等をいただき、学ばせて頂いた事も多々ございました。この経験が、今まで、今後も利用者様に心身共に安心してお過ごしいただけるように、今後も努力を怠らず、ホーム作りを向上させてまいりたいと考えております。利用者様の高齢化が進み生活面でもご自分でできる事が少なくなってきましたが、少しでも身体機能の低下の軽減ができるよう職員一丸となって支援してまいりたいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設から17年が経過しているとのことだが、館内は清掃が行き届き事業所の管理も十分に行われている印象を受ける。地域に根差した事業所運営を意識して日常的に地域の方との交流を図っている。利用者も大きな体調変化も少なく、利用者の残存機能を活用した支援の下、高齢の方が多くにも関わらず心身機能を維持されている方が多い。職員の対応も心地よく、とても良い雰囲気の中で生活できている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、 代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「なじみのある地域社会に包まれながら、明るい笑顔ではつらつと自分らしく暮らすことにお役に立ちます」の理念・理念綱領を毎朝職員全員で唱和し確認・共有をしながら実践へ繋げております。	業務マニュアルを職員一人一人が所有しており、その中にある事業所理念や倫理綱領を毎朝唱和する事で、確認と共有を行い実践に繋げています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の代表の方々に運営推進会議に参加していただき当ホームの活動報告を通して理解していただけるよう努めております。又、季節の食べ物やお花を頂戴したりと交流をはかっております。	地域の方々より野菜や花をいただいたり、来所持にお茶を飲んで行かれたり、散歩中に挨拶を交わす等して、日頃から交流が図られています。また、地域の子供達遊びに来ることもあります。	
3		○事業所の力を活かした 地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に 伝え、地域貢献している	認知症なんでも相談所として、認知症に限らず、介護に関する相談窓口として活動し、地域貢献ができるよう取組をしております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月毎に開催し、普段の生活の様子や状況報告し、委員の方より意見や情報を頂いたり、意見交換したことを職員にも伝えサービス向上に努めております	運営推進会議は2か月に1回開催され、事業所の情報をお伝えしながら、意見交換が図られています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	推進会議時、市町村担当者との連絡を取り合っている。又、自立支援事業訪問の担当が定期的に訪問され、情報の提供、報告をしております。	運営推進会議に市町村職員が参加される事で定期的に情報共有を図る等している他、事業所の広報を毎月配布して積極的に連携を図っています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ポスターを掲示、身体拘束の適正化等の指針を定め身体拘束適正化委員会を3か月1回開催。現場の状況把握、適正化に向けた話し合いを実施し取り組んでおります。	身体拘束を行っている方はおりません。身体拘束適正化の指針をもとに、定期的に委員会を開催しながら、身体拘束についての理解を深め拘束に至らない支援に努めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	「様利用者は人生の先輩」であり、尊敬の気持ちを持って接しなければならないこと、言葉一つからも虐待へつながることを伝え、管理者、職員日々話し合いや情報共有し防止に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員が制度について学び理解する事ができるよう、管理者、介護支援専門員は、自らが制度について積極的に学習し知識を深めると共に、日頃より身元引受人や民生委員、生活相談員と職員全員が関わりをもちながら、円滑な活用ができるよう努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前にご家族に見学に来て頂き、説明を行っている。契約時には十分説明し、不安、疑問、意向を聞きながら納得を得ている。又、制度改正時はその都度説明し同意を得ております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置はあるが、利用されている方はいない。日常的に意見の出やすい雰囲気作りに努め、面会時等にご家族としっかりコミュニケーションを図り、日々の触れ合いの中で思いを汲み取るように努めております。	ご家族面会時やカンファレンス開催時の意向確認の際に意見を積極的に伺う事で、意見等を反映させられるよう努めています。利用者からは日々の触れ合いの中で意見を伺うように努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送り、ミーティングや連絡ノートを十分に活用し、意見の出やすい仕組みを作っている。適宜話し合いの場を作り、運営や業務内容、その他についての要望や提案を聞き反映しております。	社長自ら頻繁に事業所を訪問し、職員と話し合う機会を設けています。職員も社長や管理者等に相談しやすい関係性を構築しており、職員の意見を運営に反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則の労働時間を重視し、各仕事の役割分担を決め責任感と向上心をもって働けるよう職場環境・条件の整備に努めております。又、仕事や身体的問題等の個別相談も適宜実施しながら皆さんが安心して楽しく仕事ができるよう努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、 代表者自身 や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々の自己啓発の為、研修会に参加、研修後は報告書を回覧し、職員間で共有し、意欲向上に繋げている。更に積極的に参加していく必要がある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、 代表者自身 や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者、管理者、職員が同業者との交流する機会をつくり、その情報をもとにサービスの質の向上に向けた取り組みを行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が遠慮せず、心配な事等言って頂ける信頼関係の雰囲気作りに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思い、要望等を伺い、信頼関係を築くようにしています。入居後もコミュニケーションを多くとり、本人が安心して暮らせるように一緒に関われる関係作りに努めております。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な介護にならないように気を付けると共に、生活の場なので、共にという雰囲気があるように、助け合い、支えあう関係を築いております。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人が家族との繋がりを大切に思ってもらえるように、ご家族と連携を取りながら一緒に本人を支えていける関係作りに努めております。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御親戚や友人、家族の面会を大切にし、以前生活していた場所等へドライブへ出かけたり、食事や自宅への帰宅等、馴染みの場所や人との関係が途切れないよう支援しております。	天気の良い日には積極的にドライブ外出する等して、自宅周囲への外出やなじみの店に買い物に行かれる等しています。その他、通いなれた美容院へ行かれている利用者もあり、馴染みの場との関係継続を図っています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の中に入り、話しかける事で孤立をなくし、穏やかな関わりが出来るよう心がけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者退所後もご家族の相談や状況をお聞きする等の連絡をとりながら関係を継続しております。又、居宅介護支援事業所や、本人を取り巻く関係機関についても適宜、連絡や調整等おこなっております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その都度本人にお伺いし、希望、意向の把握につとめています。ケアカンファレンスを行い、又困難な場合等は普段の利用者の行動や表情から思いを汲み取り、職員間で利用者本位のサービスが提供できているかなど検討し支援に生かしております	利用者の意向を汲み取ろうと、積極的に声がけする事で意向の把握に努めています。意向を伝える事が困難な方へも声がけをしながら、それでも難しい場合には、生活歴等を踏まえ本人の望ましい生活を検討しています。	現時点でも意向の把握に努めていますが、事業所よりもっと把握して支援につなげたいとの意向がありましたので、今後も利用者本位に考え意向を汲み取れるように努めていただきます。
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、 生きがい 、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族、関係事業所から情報提供を頂き、生活の経過等の把握に努めております。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の顔色や食欲、バイタルに注意し心身状態の把握をしながら、日頃から本人の出来る事等を見極め、役割を持っていただくよう努めております。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを行い一人一人の問題や課題を出し合い、その人らしい生活の仕方やなじみのある生活ができるよう介護計画に組み込みながら作成しております。又、ご家族にも意向や意見をお聞きしながら検討しております。	カンファレンスは3か月に1回行われております。多くは職員間で行われ、職員も特定の職員のみでなく、様々な職員からの意見を反映させたり、受診時の医療職の意見を計画に反映させるよう努めています。	家族の都合上なかなか参加には至っていない。本人の意向は日々汲み取ってるが、カンファレンスに本人が参加する機会を設けていただける事を期待します。
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録には利用者の日々の心身状態や介護計画の実施状況も記録しております。A.M. PMIにミーティングを行い、状態の変化や気づき等は申し送りノートを活用し、ケアの統一を図ると共に介護計画にも反映させております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族や親せき、ご友人との交流を大切に充実した暮らしが継続出来るようお手伝いさせていただきます。又地域や近隣の方々にもご協力を頂き、散歩等を通して季節季節の様子を楽しんでいただくと共に、安心して生活できるよう努めております。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当事業所の嘱託医はおりますが、ご家族、ご本人の希望の医師の受診をおこなっております。主治医とも定期的に連絡、報告をし適宜必要な場合は紹介状等を書いていただくなどしながら適切な医療が受けられるよう支援しております。	入所後、事業所の都合で嘱託医へ移行することなく、これまでのかかりつけ医への受診を継続しています。また、薬局もこれまでのかかりつけを利用し、本人や家族の希望を反映させています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々のケアの中で状態観察を行い、身体面・精神面の問題点や心配事等を担当の医師や看護師に連絡、相談しながら適切な受診、看護が受けられるよう支援しております。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はスタッフ同行し、現状説明をしています。又、お見舞いに行き状態を把握したりしています。退院時は同行させて頂き出来る限り情報を得るようにしております。入退院時はサマリー交換している。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	まずご家族への状態報告を行い、利用者ご家族の意向の確認をし、事業所にてできる可能なケアの説明を十分におこない納得・安心していただけるよう努めております。随時、本人、家族様と話し合いながら病院やその他事業所へ結びつけるなどの支援を行っております。	生活全般において介助を要する状態になった際には、事業所としての支援に限界がある為住み替え等を必要とする旨を入所時に説明し理解を図っています。そうした中でも可能な限り継続して支援できるように検討しています。	重度化しても事業所での生活を続けたいと本人や家族より意向が聞かれる方がいないとも限らないので、そうした意向に少しでも応えられるように、重度化への対応について前向きに検討いただく事を期待します。
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命の講習を受講しており、誤嚥や骨折等の初期対応は内部研修にて行い実践力強化に努め、マニュアルを作成し、職員の対応の統一を図るよう努めております。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防者立ち会いの下避難訓練を行っており、必要な情報や知りたいことを専門の方にお伺いし、利用者様や自分たちの守るすべを周知徹底しております。地域代表者の方や近隣の方々にも協力していただけるようお願いしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常にご本人の人格を尊重し否定的な言葉を避け、自尊心に配慮した支援をしております。介護しているのではなく、させて頂いているということを忘れず、お伺いや確認をしながら支援しております。	利用者の人格を尊重した言葉使いがされています。また、利用者のプライバシーへも配慮されています。特に身だしなみには配慮されていてその人らしい服装や髪形をされています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が困っているような時は、居室等でゆっくりお話を傾聴しながら、お互いに気持の確認と整理をしながら、心から納得、安心できるよう働きかけをしております。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は業務を優先するのではなく、本人のペース、その人らしい暮らしを大切にしながら生活を送って頂けるよう支援しております。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	普段より衣類はご自分で選んでいただいておりますが、好みや希望、清潔も考え、服や髪などのおしゃれが出来るよう支援しております。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を使ったメニューの考案やたごしらえなどを一緒におこない、又盛り付けや皿になど、一人ひとりの状態に合わせて配膳しています。楽しみの多くを占める食事を美味しく残さず食べられるよう配慮し、出来る事はお手伝いしていただいております。	利用者は調理にも積極的に参加されており、残存機能を活用した取り組みがされています。これまでの生活を尊重しコーヒーを挽いて飲まれる等楽しみを見いだせる工夫がされています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう 状況を把握し 、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後、一人ひとり食事量や水分量を介護記録に記入し、状態把握に努めております。ご本人の好みや身体状態に合わせてながら、食事形態や水分の種類などを変え、出来る限り摂って頂くよう工夫しております。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、全利用者に対し口腔ケアの声掛け、誘導を行っております。その方に応じた口腔ケアを一人一人の残存機能をみながら、介助が必要な方はお手伝いさせていただき、感染症の予防や肺炎にならない取組をしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人に合わせた時間やタイミングで誘導や声掛けを行い、失敗せず、気持ちよく排泄できるよう支援し、自信を感じることや自立に向けた取り組みを行っております。	利用者1人1人の排泄パターンや仕草を把握して排泄面での自立に向けた取り組みがされています。排泄用品に頼ることなく出来るだけトイレでの排泄を支援しています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量に気を配ったり、食物繊維を多く摂って頂くなど心がけ、ヨーグルトとオリゴ糖の提供、適度な運動を行うなど予防に努めております。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の希望に合わせて入浴していただいております。バイタルや傾向状態に配慮しながら、安心してゆっくりと入浴できるよう支援しております。	入浴は毎日できる体制をとり、概ね10時から12時頃、14時から16時頃までに入浴されています。入浴したくない方へも声かけの工夫や入浴時間や入浴日をずらす等して安心して入浴できるよう配慮されています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の身体の状態に合わせ、無理せず負担がかからないような支援をしております。居室の温度・湿度管理を毎日確認し、体調や状況に応じて個々の対応をし、快適に安心して休息できるよう支援しております。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが服用、使用している薬については全職員が周知出来るよう、情報を共有し安全に服薬していただけるよう努めております。又、主治医や薬剤師へ適宜相談できるようにしております。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれ一人一人の好みや生活習慣を把握し、気持ちにハリのある生活を送れるよう支援しております。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人が行きたい場所へ行けるよう、ご家族等とも話を合いをし実現できるよう支援しております。色々な所へドライブへ行き、その土地のお店へ寄り外食をしたりして楽しんでいただいております。	天気の良い日には積極的にドライブ外出する等して、自宅周囲への外出やなじみの店に買い物に行かれたり、天気を見て散歩に出かける等積極的に行われています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つことの安心感や意志の決定を大切に支援しております。また、おこずかいにて好きな物やほしい者の購入もできます。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人自ら家族や大切な人に電話の取次ぎや橋渡し、手紙のやり取りができるよう支援しております。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安心で心地よく生活が送れるようホーム内の室温・湿度に配慮し、フローア―は季節の花や飾りつけを利用者と一緒に飾りつけをし、居心地よく過ごせるよう配慮しております。	共用スペースはソファ―が設置されていたり、テーブル席があったり過ごせる場所が選べるようになっていますが、その他外から見えないようなスペースもあり、ご家族等と他の利用者の目を気にすることなく過ごせるような配慮もされています。落ち着いた雰囲気清潔感があります。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内にはゆったりと座る事ができるソファ―がいくつかあり、TVをみながら近くに座る他利用者同士楽しく談笑されております。ストレスを感じないように、その方に合った居場所、空間が出来るよう工夫し支援しております。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、自宅で使用していた布団や湯飲み、茶碗等の馴染みのある物を持ってきていただき安心して過ごせるよう努めております。又、馴染みの物で居室でも心地よく過ごしていただけるよう配慮しています。	居室にはベット、チェスト、ソファが準備されています。その他の家具等はご自身が使い慣れた物等を自由に持ち込めるようになっており、写真を飾る等してその人らしいプライベート空間が作られています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はゆったりとしたスペースが確保されており、危険な物や障害物はなく、車椅子の方にも安全な生活を過ごせるよう工夫したり、動線にも配慮し安心・安全に生活して頂けるような環境作りをしています。		